

府民と力あわせ
暴走政治ストップ

府政を動かす 行動と提案力

日本共産党府会議員団

安倍政治による大企業優先の政策や社会保障の改悪、削減により、府民のくらしは大変です。いのちとくらし、地域を丸ごと支える自治体本来の役割発揮へ、日本共産党府会議員団は力をつくしてきました。

府会第2党の力で 府民の願いにとことん応える

請願紹介 **99.9%** 896/897件
(2015年6月～2018年12月)

“なんでも反対”の「オール与党」

消費税10%増税の中止を求める意見書や全員制の温かい中学校給食の実施を求める決議など、日本共産党提案の府民の切実な願いをすべて否決。

日本共産党京都府会議員団 議会報告 京都府議団

E-mail: giindan@jcp-kyotofukai.gr.jp <http://www.jcp-kyotofukai.gr.jp/>

北陸新幹線など巨大プロジェクトより

災害復旧・防災対策こそ最優先



豪雨災害調査 2018年7月9日

大阪北部地震や台風、豪雨によって京都は甚大な被害を受けました。党府議団は府の管理河川整備が遅れていることを指摘し、土木事務所・振興局の再配置や職員体制の強化を求めています。

議員団の実績 いち早く現地調査 屋根改修助成、ハウス復旧助成を実現

党府議団はまっ先に現地につけ、支援制度を府民に知らせながら、調査をもとに申し入れや議会質問を行い、屋根改修への耐震改修制度の弾力的な運用や、倒壊したパイプハウス復旧へ国制度を活用した上乗せ支援などが実現し、被災者から喜ばれています。



幅広い方々と力をあわせ防災シンポジウムを開催 2018年12月23日

京都のリアル
浸水被害 全国3位
河川整備率 全国ワースト6位

その一方で
▶北陸新幹線延伸
…2兆1000億円以上
▶リニア新幹線
……………9兆円

貧困・格差ただし

くらしを丸ごと支える 緊急対策を提案

昨年春の知事選挙で、日本共産党が推した福山和人さんの提案した「すぐやるパッケージ」は、府民の大きな話題となりました。党府議団は、京都府がいますめるべき緊急対策の予算化を申し入れました。

議員団の提案

- 1 中学校卒業まで医療費無料に
- 2 全員制の温かい中学校給食、給食費無償化の実現めざす
- 3 府独自の給付制奨学金を創設
- 4 府老人医療助成制度を窓口1割負担に
- 5 中小企業支援と一体に、時給1500円以上に

府予算の1%で可能



共産党府議団の提案は昨年の知事選で私たちが掲げた『すぐやるパッケージ』に通じるもの。これを『すぐやらせるパッケージ』にするために市民と共産党の力がカギです。

弁護士 福山 和人



京都のリアル
非正規雇用 全国ワースト2位
合計特殊出生率 全国ワースト3位

中小企業支援・地域を豊かにする 循環型の経済へ転換する

大手資本や外国資本が中心の観光政策ではなく、「若者をはじめ誰もが安心して働き続けられる京都府条例」をつくり、非正規労働者を減らし正規雇用を促進します。地域の経済と文化を守る農林業漁・伝統産業をバックアップします。



学費・奨学金・ブラックバイト
青年による府議会請願

高すぎる学費、返せない奨学金、ブラックな働き方—若者のみなさんとともに、学び、働き続けることができる京都へ、力を合わせてきました。



農業シンポ「農業のきょうと明日を考えるついで」
を12月に福知山で開催、農家支援や後継者育成など語り合いました。